

# 造影検査をお受けになる患者様へ



## 造影検査とは？

造影剤を静脈から注入することで、通常では描出困難な病変、臓器や血管を明確に描出でき正確な診断が可能となります。造影検査は診断上の必要性があり、安全に出来ると判断された場合に限り施行いたします。

## 造影剤の使用について

特定の病気や体質で、副作用が生じやすい事や病気が悪化したりする事があります。以下の項目に当てはまる方は申告して下さい。

### 造影剤使用不可の方

**ヨード過敏症**  
**重篤な甲状腺機能障害**

### 原則、造影剤使用不可の方（または慎重投与）

ヨード造影剤による副作用歴  
重篤な心臓・肝臓・腎臓の障害、テタニー  
気管支喘息、多発性骨髄腫、マクログロブリン血症

## 副作用について

造影剤は体質や体調により**副作用が発生する**場合があります。以前に造影剤の使用歴があり、副作用のなかった方でも同様に起こる可能性があります。

### 軽い副作用

(確率) 約100人につき3人以下 (3%以下)

(症状) 吐き気・動悸・頭痛・痒み・発疹・悪心・じんましん等

### 重い副作用

(確率) 約2500人につき1人 (約0.04%)

(症状) 呼吸困難・意識障害・血圧低下

後遺症の可能性、入院や手術が必要なこともあります。

### 重篤な副作用

(確率) 約10万人につき1人 (約0.001%)

極めて稀に死亡する場合があります。

## 造影検査後について

▶ 造影剤は24時間で97%が尿として排泄されます。

特に**水分制限のない方は水分を多めに取るようにして下さい。**

▶ 検査後1週間以内に頭痛・発疹・痒み・悪心・全身倦怠感などを感じた時は、**遅発性副作用の可能性**があるので、病院に連絡し受診の必要性を確認して下さい。



# MRI検査をお受けになる患者様へ



## MRI検査とは？

MRI（磁気共鳴画像）とは、強い磁石と電波を用い体内の状態を検査する方法です。体への侵襲なく、様々な角度から体の断面の写真を撮影することができます。

## 検査が出来ない方

MRIの磁石や電波は、人体への影響はありません。ただし次のような方はMRI検査を受けられないことがあります。担当医または検査担当技師に予めお知らせ下さい。

### 検査禁忌の方

- ペースメーカー装着の方
- 骨成長刺激装置を装着の方
- 神経刺激装置を装着の方
- 閉所恐怖症の方

### 期間や状況によって検査禁忌の方

- 妊婦、妊娠の可能性（妊娠5～10週目）
- 口腔インプラント（施行後3か月以内）
- 血管内治療デバイス（種類により1～2か月以内）
- 動脈クリップ（材質不明で10年以上前のもの）
- 刺青、タトゥー等（やけど・変色の可能性,お申し出下さい）

## 金属類等の取り外しについて

故障や検査への影響があるため、以下の物は検査前に必ず取り外しておいて下さい。

### 金属類

- 入歯
- カツラ
- 補聴器
- 金属性の小物
- アクセサリ 類
- 携帯電話などの機器

### 磁気類

- 磁力で装着する義歯
- 磁力で装着する義眼
- キャッシュカード
- クレジットカード
- 定期券

### 化粧品、貼付薬等

- マスカラ、アイシャドウ
- カラーコンタクトレンズ
- 心臓の貼付薬、湿布
- エレキバン、カイロ
- 増毛パウダー

## 腹部MRI検査について

午前に腹部MRI検査を受けられる方は、前日21時以降は飲食をなさらないで下さい。午後に腹部MRI検査を受けられる方は、当日9時までに軽めの朝食をおとり下さい。その後の飲食はなさらないで下さい。

# MRI検査をお受けになる患者様へ

検査にて患者様にご協力いただく内容です。  
必ず確認し注意事項を守ってください。  
ご不明な点がございましたらご連絡下さい。



## 検査前日

(食事) お腹を検査の方以外は制限はありません。

午前にお腹の検査をお受けになる方は夕食・間食は21時まで、  
午後にお腹の検査を受ける方は当日の朝9時までに済ませて  
下さい。以降は水・お茶のみとして下さい。

(薬) 普段通りで構いません。

## 検査当日

月 日 ( )  
:

(食事) お腹を検査の方以外は制限はありません。

(薬) 心臓病、高血圧のお薬は6時までに水で服用して下さい。

(服装) 金属の付いた着衣等はお脱ぎいただきます。

保温下着は金属がなくても避けて下さい。

(化粧) マスカラやアイシャドウはご遠慮下さい。

## 注意事項

- ・検査の進行状況や緊急での検査飛び込みによって、**予定時間通りに開始出来ない**場合がございます。
- ・受付がされていない場合、予約時間に限らず順番の変更をさせて頂く場合がございます。**15分前にはお越し下さい。**



医療法人社団善仁会

小山記念病院

Tel:0299-85-1111(代表)

担当科：画像検査科

# 造影MRI検査をお受けになる患者様へ



## 造影検査とは？

造影剤を静脈から注入することで、通常では描出困難な病変、臓器や血管を明確に描出でき正確な診断が可能となります。造影検査は診断上の必要性があり、安全に出来ると判断された場合に限り施行いたします。

## 検査が出来ない方

MRIの磁石や電波は、人体への影響はありません。ただし次のような方はMRI検査を受けられないことがあります。担当医または検査担当技師に予めお知らせ下さい。

### 検査禁忌の方

**ペースメーカー装着の方**  
**骨成長刺激装置を装着の方**  
**神経刺激装置を装着の方**  
**閉所恐怖症の方**

### 期間や状況によって検査禁忌の方

**妊婦、妊娠の可能性**（妊娠5～10週目）、**口腔インプラント**（施行後3か月以内）  
**血管内治療デバイス**（種類により1～2か月以内）  
**動脈クリップ**（材質不明で10年以上前のもの）  
**刺青、タトゥー等**（やけど・変色の可能性,お申し出下さい）

## 造影剤の使用について

特定の病気や体質で、副作用が生じやすい事や病気が悪化したりする事があります。以下の項目に当てはまる方は申告して下さい。

### 造影剤使用不可の方

**ガドリニウム過敏症**  
**重篤な腎臓機能障害**

### 原則、造影剤使用不可の方（または慎重投与）

ガドリニウム造影剤による副作用歴、重篤な心臓・肝臓・腎臓の障害、テタニー、気管支喘息、多発性骨髄腫、マクログロブリン血症

## 副作用について

造影剤は体質や体調により副作用が発生する場合があります。

以前に造影剤の使用歴があり、副作用のなかった方でも同様に起こる可能性があります。

### 軽い副作用

（確率）約100人につき1人以下（1%以下）

（症状）吐き気・動悸・頭痛・痒み・発疹・悪心・じんましん等

### 重い副作用

（確率）約2000人につき1人（約0.05%）

（症状）呼吸困難・意識障害・血圧低下・全身性の線維症

後遺症の可能性、入院や手術が必要なこともあります。

### 重篤な副作用

（確率）約100万人につき1人（約0.0001%）

極めて稀に死亡する場合があります。

## 造影検査後について

- 造影剤は24時間で97%が尿として排泄されます。特に水分制限のない方は水分を多めに取るようにして下さい。
- 検査後1週間以内に頭痛・発疹・痒み・悪心・全身倦怠感等を感じた時は、遅発性副作用の可能性があるので、病院に連絡し受診の必要性を確認して下さい。

# 造影MRI検査をお受けになる患者様へ

検査にて患者様にご協力いただく内容です。  
必ず確認し注意事項を守ってください。  
ご不明な点がございましたらご連絡下さい。



## 検査前日

- (食事) 午前に検査をお受けになる方は夕食・間食は21時までで  
以降は水・お茶のみとして下さい。  
午後に検査を受ける方は制限はありません。
- (薬) 普段通りで構いません。

## 検査当日

月 日 ( )  
:

- (食事) 午前に検査をお受けになる方は朝食は食べずに来院して下さい。  
午後に検査を受ける方は当日の朝9時迄に済ませて下さい。
- (食事) 医師からの水分制限がない方は、水・お茶のみ水分摂取可能です。
- (薬) 心臓病、高血圧のお薬は6時までに水で服用して下さい。
- (服装) 金属の付いた着衣等はお脱ぎいただきます。  
保温下着は金属がなくても避けて下さい。
- (化粧) マスカラやアイシャドウはご遠慮下さい。

## 注意事項

- ・検査の進行状況や緊急での検査飛び込みによって、**予定時間通りに開始出来ない**場合がございます。
- ・受付がされていない場合、予約時間に限らず順番の変更をさせて頂く場合がございます。**15分前にはお越し下さい。**



医療法人社団善仁会

小山記念病院

Tel:0299-85-1111(代表)

担当科：画像検査科